

令和8年度 都市環境課基本方針

課名	都市環境課
職・作成者	課長 遠藤 拓央
	課長補佐 松原 司
	課長補佐 多田 剛

1. 本年度の目標

- 1 人口減少社会を見据えた「暮らし満足度の高いまちづくり」を目指します。
- 2 地域公共交通計画を改定し、公共交通網の持続的な確保と利便性の向上を図るとともに、見附駅周辺整備事業の後期計画の策定を着実に推進します。
- 3 ウェルネスタウンの分譲促進と、安全・健康・環境に配慮した住環境の形成を推進します。
- 4 脱炭素、新・省エネルギー施策の検討、排出ごみの減量化を推進するとともに、次期最終処分場の建設を含む今後の整備の方向性を検討します。
- 5 事業の目的を踏まえ、業務の改善に取り組む職員を育成します。

2. 目標達成の課題

- 1 都市政策と環境政策が連携した組織体制を推進していく必要があります。
- 2-1 将来を見据えた公共交通の運営体制を検討するとともに、学校適正配置計画を踏まえた交通体系を検討する必要があります。
- 2-2 東西自由通路整備の断念を踏まえて整備方針を整理し、整備内容の精査と後期基本整備計画を策定する必要があります。
- 3-1 ウェルネスタウンの戸建て住宅用地や集合住宅用地の有効活用を図る必要があります。
- 3-2 居住性能が高く安心安全に暮らせる住宅を増やすとともに、空家の利活用・適正管理の促進、困難事案の解決に向けた検討を進める必要があります。
- 4-1 市民や事業所に対して再生可能エネルギーの活用を啓発するとともに、排出ごみの減量・資源化の向上により脱炭素化を推進する必要があります。
- 4-2 現最終処分場の状態を踏まえ、次期最終処分場の整備方法等を検討する必要があります。
- 5 担当業務に習熟するとともに、業務の目的や費用を意識する必要があります。

3. 重点施策

- 1 4係が連携して課題解決を図る組織運営を行います。
- 2-1 地域公共交通計画の改定を進め、学校再編を踏まえた移動手段の構築を検討するとともに、市民の公共交通利用促進、夜間・周辺部の利便性の向上、ライドシェアなどの新たな仕組みの検討など、持続可能な体制構築を目指します。
- 2-2 後期基本整備計画の策定を進め、東西ロータリー等の交通処理方策を検討するとともに、地下通路や駅舎の利活用を含め、市民と協働した駅周辺の活性化に取り組みます。
- 3-1 ウェルネスタウンの補助金拡充のPRや住宅見学会の開催など、不動産協会と連携して販売促進活動を実施するとともに、集合住宅用地の有効活用に向けた取組

を進めます。

- 3-2 住宅の耐震化と、令和7年度に策定した空家計画に基づいた利活用・適正維持の促進策や特定空家等への対応策の検討・取組を進めます。
- 4-1 拡充した事業所向け太陽光発電補助金の啓発活動の強化を図るとともに、ごみの減量化、資源化に関する身近な情報を発信し、市民が主体性をもて活動できるよう周知を図ります。
- 4-2 次期最終処分場整備に伴う環境生活影響調査と文化財試掘調査を実施するとともに、整備方法等の検討を進め、地元と良好な関係を継続させます。
- 5 様々な場面（事業起案・打合せ）を通じて、担当業務の目的や費用対効果の視点を意識づけ、業務の改善に取り組むことを促します。

※ 記載は簡潔に